

麻酔科専門医研修を考えている研修医の方々へ

当院専門医研修ページへようこそ。

数ある専門診療科のなかで、「麻酔科」に興味を持たれたのはなぜですか？

ある臓器だけ、またはある病気だけしか診られない専門医になるより、生命全体を診療し治療できる総合診療として麻酔・集中治療医になりたい？

それならぜひ、当院プログラムを考えてみてください。

1) 豊富な症例

年間約5000件をこえる麻酔科管理手術の中には、心臓血管外科(開心術、TAVI, EVAR)、脳神経外科(開頭術)、呼吸器外科(開胸術)、帝王切開、小児症例(小児外科、耳鼻科、形成外科)のいわゆる必須5分野はもちろん、整形外科(脊椎、人工関節、外傷)、外科(肝胆膵、上部株・下部消化管)、頭頸部外科(甲状腺、咽喉頭)といった大学病院レベルの難症例を数多く行っています。

2) 一体化した集中治療部

患者管理は、挿管して、麻酔して抜管して病棟に返して終わり、ではありません。術後鎮痛のプランニングはもちろん、重症であればそのままICUでの管理に移行します。麻酔と集中治療を同一科でおこなっている当院ならではの強みです。

3) 大学病院との連携

さすがに臓器移植手術などは当院では行っていませんが、京都大学附属病院麻酔科と連携しておりますので、より高度な手術やペインクリニックを研修希望でしたら、1年間大学病院でそれらを研修することができます。

また京大病院麻酔科からの豊富な教育コンテンツ(症例検討会、臨床講義、ハンズオンセミナーなど)を共有することができます。

研修大事なのはわかっているけど、ろくろく休みもなく深夜まで働かされるのはちょっと自信ない？ せっかく休日の予定をたてたのに、患者の容態が急変して呼び出しとかされたくない？ 家庭の事情で深夜勤務や当直、休日出勤はちょっとムリそう？

それならぜひ、当院プログラムを考えてみてください。

1) ワークライフバランスに配慮した勤務体制

週5日、朝8時30分から17時までの勤務で、17時にオペが終了しない日もありますが、専攻医の月間超過勤務が40時間を超えることはありません。土日の当直・待機はなく、カレンダー通りの休日です。週1日ある当直は専門医が上当直で指導につき、翌日は勤務なしのフリーで、13時以降は退勤可です。

2) キーワードは多様性

大学医局人事だけでなく、公募によるスタッフも大勢おります。他科から転向あるいは麻醉標榜医を取るため出向してきているもの、育児中のママさん麻醉科医も少数派ではありません。さまざまな出自の医師が、あなたのよき相談相手やロールモデルになってくれるでしょう。

3) 連携先、希望に応じます

ご存じのように、専門医になるためには、同じ病院で4年間勤務し続けることはできません。いつか出向しないといけません、また引っ越しとか大変です。あるいは、研修中に「あの病院に行きたい」と思うこともあるかもしれません。当院は連携先に大阪市内（北野病院）、大阪府内（岸和田市民）を設定していますので、研修中の転居を避けることができます。また現在の連携先以外の病院での研修継続を希望された場合、連携先として追加あるいはプログラム移動を行い、専攻医当人の希望する病院に送り出した実績があります。

現在でこそ、「麻醉科医不足」がクローズアップされていますが、このさき20年後、30年後、現在の高齢者がいなくなって国内の人口が減りだすと、手術件数そのものが減って「麻醉しかできない麻醉科医」の需要は激減するおそれがあります。そうなっても生き残っていけるように、当院で「患者全身を診て治療できる総合診療としての麻醉・集中治療医」を目指してみませんか。お待ちしております。

麻醉科・集中治療部
主任部長 内海 潤

先輩からのメッセージ

私は救急専門医を取得したのち、当院麻醉科専攻医として働き始めました。充実した日々なので、気付くと3年経っていました。当院で研修できていることに感謝と満足しかありません。

当院は約900床ある病院であり、心臓血管外科や呼吸器外科、緊急症例をはじめ多くの経験が可能で手術件数も多いです。専門医に必要な症例件数も当院だけでクリアできます。また、私にとっては良かったことですが専攻医が多くなく、単純な麻醉管理は当然のこととして、苦手な症例やしたい症例もどんどんやらせてもらえます。ここは私にとって本当に良かったところで、苦手な手技（特に硬膜外麻醉やエコーガイド下末梢神経ブロック）

を克服する機会がたくさんあります。指導体制に関しても、指導医が各手術に付き、しっかりと指導やサポートを行ってくださいます。安心できるポイントかと思います。

当院は ICU も麻酔科で管理しておりますので、麻酔研修だけでなく希望があれば集中治療に携わる機会にも恵まれています。実際、私も ICU に携わらせていただいています。

ここまでの話だと、忙しくプライベートの時間がないのではないかと不安に思う方もいるかもしれません。ですが、そんなことはなく当科では QOL もしっかりしており、土日祝日はしっかりと休めます。みんな家族との時間や趣味など問題なく確保できています。

今年は専攻医 2 人が加わり、麻酔科全体として活気も一層出てきています。話しやすい先生方ばかりでいつも和気藹々としています。

今一度お伝えしたいのですが、当院麻酔科の良いところは非常に多くの経験が可能で充実しているのに、プライベート時間もしっかり確保できるところです。

私自身も当院麻酔科にきて満足していますし、これから麻酔科になられる先生方も後悔しないはずです。

ぜひ一度見学だけでも来てみませんか？